

代表質問

12月定例会では、8つの会派が代表質問を行いました。代表質問を行った会派の名称、発言順及び発言時間は次のとおりです。

公明党(174分)、創生市川(156分)、自由民主党(102分)、無所属の会(138分)、日本共産党(120分)、緑風会第2(84分)、緑風会第1(102分)、市民の声を届ける会(84分)

無所属の会

増田 好秀 (補正質問者)
 佐直 友樹 長友 正徳
 石原よしのり (総括質問者) 越川 雅史

テスラ車 導入問題

問 公用車としてのテスラ車の使用実績は、主には市長の出退勤時の送迎にしか使用されていないことが判明しており、本市環境エネルギー政策の推進役としての市民へのPR効果は薄かった一方で、リース契約の解除後は市長が設立した法人が買い取り、市長の政務活動で使用することによってある。そうすると、市民には公務使用との区別がつかなくなるので、「まだテスラ車に乗るのか」との批判を受けたいためにも、明確に市長のプライベートでのみ使用すべきではないか。

答 公務と政務の線引きとして、公務は、市を代表して市長として行う仕事であり、それ以外が政務と認識している。なお、当該テスラ車が政務としてどのように市長に使用されるのかは、本市として把握していない。



工事が進む市役所新第1庁舎(内部)



工事が進む市役所新第1庁舎(南西側)

新第1庁舎の整備

問 村越市長は、建設中の市役所新第1庁舎について、唐突に階段設置工事の追加と開庁の約5カ月延期を公表した。「ワンストップサービス」のためという理由

答 自体はよいとしても、階段設置の必要性に係る十分な説明がなく、今定例会で予算案も出さないとはいえない。追加工事は撤回し、次回の市長選挙における公約に掲げて、改めて市民に問うべきではないか。

答 今定例会での工事費の提案を見送った理由は、令和元年9月定例会で「新第1庁舎の階段設置追加工事の必要性を慎重に判断することを求める決議」が可決されたこと等を踏まえて、引き続き丁寧な説明をする必要があると判断したためである。また、選挙公約に掲げることかについては、市長としてその考えはない。

有機農業の促進

問 食の安全のために、有機農業の促進は重要であるが、化学肥料等の使用が通常の2分の1以下の「ちびエゴ農産物」の生産者は増えず、エコファーマーは減少しているが、その要因は何か。また、韓国ではオーガニック食材の給食が毎日提供されている市があるが、本市でも有機農業の促進のため、生産者と学校給食等の消費者とのネットワークを強化できないか。

答 減少の大きな要因は、有機農業は手間が掛かる割には収入等に反映されず、

新第1庁舎の整備

問 市役所新第1庁舎の1階と2階の間に新たに階段の設置を検討していると聞いた。この階段はワンストップ窓口の推進や市民活動の活性化のため、更に将来的にフロアの活用方法を変更する場合にも有効に活用できるものと考えている。階段の有効性及び将来的な活用について市の考えを問う。

答 当該階段は、ワンストップ窓口の導入時に職員や市民が利用する動線として、また、市民活動等を庁舎内で結びつけるための動線として、それぞれ有効な役割を果たすと考えている。また、将来的に窓口が縮小し、1階と2階の大半が市民のためのスペースとなった場合には、階段は市民が庁舎内を自由に往来する動線として活用され、市民交流の促進に重要な役割を果たすものと考えている。

緑風会第1

竹内 清海 (総括質問者)
 鈴木 雅斗
 青山ひろかず 荒木 詩郎

窓口のワンストップ化

問 市役所新第1庁舎で導入するワンストップ窓口について、「スマート窓口」等、市民が親しみやすい愛称を付けたいと考えているが、市はどう考えているか。また、行徳支所や大柏出張所等でも庁内LANの無線化等によりワンストップ対応が可能であり、導入を進めるべきと考える。今後の導入に向けた考えを問う。

答 政策が市民に受け入れられる過程で名称等は重要な意味を持つと認識しており、窓口の愛称に関する提案については意見として参考にしていきたい。また、支所等の窓口は日々業務を継続しているため、ワンストップ窓口の導入に向けたレイアウトの大幅な改修等、直ちに対応することは難しいが、市民がどの場所でもスムーズに手続きができるよう、環境整備に努めていく。

市民の声を届ける会

かつまた竜大 (総括質問者)
 つちや正順 中町 けい

新第1庁舎の整備

問 市は、建設中の市役所新第1庁舎に階段の追加工事を旨発表しており、

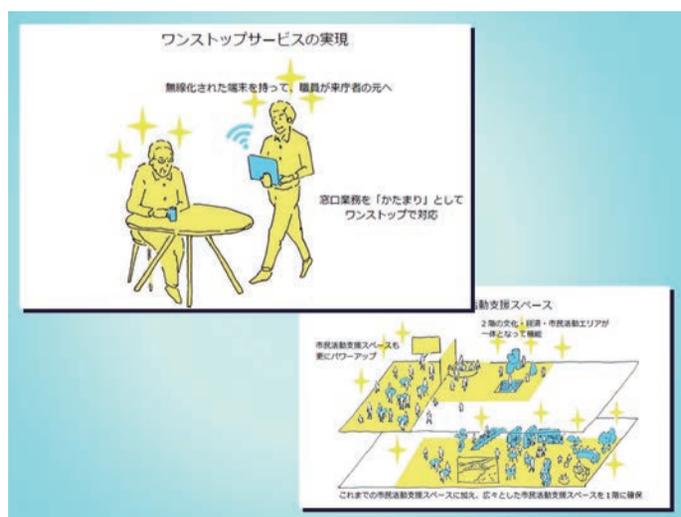
その理由としてワンストップサービスの実現のためと説明している。市がワンストップサービスにチャレンジすること自体には、市民からも好意的な意見が多かったと感じている。一方で、

答 新第1庁舎1階と2階

階段の設置時期については懐疑的な意見が多く、例えば、「新第1庁舎の完成後・階段設置前に、まずはワンストップサービスを実施する。そして、10〜15年程度試行した上で効果検証をきちんと行った後、必要があれば設置の是非を市民に問う、あるいは、もう一度議論をする」といった方が、市民全体の納得も得やすいのではないかと、この声があった。こうした声も踏まえ、階段設置のタイミングについて、市の考えを問う。

答 新第1庁舎1階と2階

中央部に階段を設置することとは、「ワンストップサービスの補完」や「文化・経済や市民活動の活性化」等、庁舎の機能を最大限に引き出すためのものであり、また、庁舎の供用を開始した後で階段を設置しようとする、工事期間の長期化、それに伴う経費の増大が想定される。そこで、当該階段の設置は、新第1庁舎の供用開始前に追加工事として実施する方法を選択した。



新第1庁舎ワンストップサービス等のイメージ